



整備が進む中部縦貫自動車道(犬野東IC付近)と4月にオープンした道の駅「荒島の郷」

福井のインフラ整備と 担い手確保推進



県内では現在、高速交通網の整備が進められています。これらが開通すると、首都圏や中京圏、関西圏との移動時間が短くなり、人の交流や物流の飛躍的増加が見込まれます。

北陸新幹線は2024年春の福井・敦賀開業に向けて、県内の工事が着々と進行中。土木工事はほぼ完了し、軌道等の設備工事が最盛期を迎えています。新幹線沿線地域のシンボルとなる駅舎について、福井駅や越前たけふ駅では、今夏に外観がお目見え。芦原温泉駅と敦賀駅の工事も進んでいます。県民限定の北陸新幹線施設見学会も行われました。10月には福井駅前電通り北地区A街区において2024年春完成予定の再開発ビルの起工式が行われました。完成すると、県内で一番高い建物になる予定です。福井市から大野市を経て長野県松本市に至る中部縦貫自動車道は、現在トンネル工事や橋梁工事・改良工

事が進められており、工事中の県内区間35kmのうち大野ICから和泉IC(仮称)までの区間19・5kmが、来年度に開通予定です。これら高速交通網に関心をもってもらうため、新幹線工事現場の見学会や「中部縦貫自動車道巨大すごろく」等のイベントも行っています。

こうした大規模なインフラ整備を進めるためには担い手となる建設業界の人材が必要です。そこで県は新たな人材獲得を後押しするため、建設業の新3K「給与(が良い)・休暇(が取れる)・希望(が持てる)」の情報を発信。県内の中学・高校生へPR冊子を配布したり、建設関係のイベントでは建設業の仕事体験会を開催しています。また、県と県内建設事業者の若手技術者を中心となつて作成した新3KのPR動画を、映画館で放映したりYouTubeで配信して、

もに、建設業界の人材確保の取り組みを、積極的に進めていきます。

- ◎ 新幹線建設推進課(新幹線)
☎0776-20-0298 ☎20-0729
- ◎ 高規格道路課(高規格道路)
☎0776-20-0475 ☎20-0698
- ◎ 都市計画課(再開発)
☎0776-20-0499 ☎20-0693
- ◎ 土木管理課(人材確保)
☎0776-20-0469 ☎22-8164
- ◎ 道路保全課(道路除雪対応)
☎0776-20-0477 ☎20-0478

業界のイメージアップを図っています。動画制作にも関わった県建設業協会青年委員会の辻広昌平委員長は、「建設の仕事は、住む人の今と未来に貢献でき、仕事も途切れることがないので将来性も十分。いきいきと働く若い人も多い」と言い、協会と各企業の努力で建設業界を盛り上げていきたいと話します。

さらに、離職を防ぐため、企業の経営者や指導担当者を対象とした人材育成に関するセミナーを開催。働き方改革や生産性向上への支援も行っています。また全国でも先進的な取り組みとして、昨年4月から県が発注する全ての工事(災害復旧等を除く)において、週休2日制を実施しています。

降雪の多い福井では雪対策も重要です。県では降雪に備え、道路状況確認カメラの増設を進め、県ホームページ「みち情報ネットふくい」で除雪状況や渋滞情報を発信していきますが、実際の除雪現場に欠かせないのはやはり人の力です。大雪時に対応できる人材を確保するため、県でも除雪機械の運転に必要な大型免許などの取得支援や除雪技術向上のための講習会などを実施しています。

県では、今後も県民の暮らしを支えるインフラ整備を加速させていくと

建設業の新3K「給与・休暇・希望」 どんな働き方?

Q 給与はどれくらいですか

A 国の調査によれば、2019年時点で建設業の初任給は大卒で216,700円、高専・短大卒で189,400円。全産業平均(大卒210,200円、高専・短大卒183,900円)と比べて上回っています。

Q 土日は休めますか?

A 労働者の健康確保やワークライフバランスの推進、将来の人材確保のため、県では週休2日工事の普及による働きやすい職場環境づくりを推進しています。

Q 建設現場は危険ではないですか?

A ドローンを活用したりICTの普及が進んで、危険な場所での施工が先端技術でカバーされてきています。また、建設業界では安全教育や安全管理の徹底が進められています。

建設業イメージアップPR動画

「未来に最も近い職場」



「建設産業の3Kからシン3Kの時代へ」



知事メッセージ みなさんと一緒に

100年に一度の機会を捉え、 まちづくりを加速していきます

高速交通網の整備が進展する今、福井県は国内外との大交流を推し進める大きなチャンスを迎えています。この機を逃さず、市町とともに魅力あるまちづくりを加速していきます。



知事 杉本 達治